

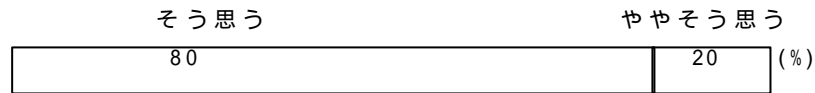
教育庁実施事業改善調書（平成19年度実施事業）

高校教育課（内線5261）

事業名	生徒指導実践サポート事業	事業開始年度	平成18年度																												
事業の目的	各学校の生徒の実態に合った生徒指導体制づくりの推進等により、暴力行為やいじめ、不登校、中途退学などの諸問題の解決に資する。																														
事業の概要	1 いじめ問題対策研修会の実施 全県立高等学校において、年度内に1回職員研修会を実施する。 2 スクールカウンセラーの派遣 県立高等学校30校にスクールカウンセラーを6回派遣する（1回当たり4時間）																														
期待される効果	生徒一人一人にきめ細かな指導を行い、目的意識を持たせることで、充実した学校生活を送ることができ、県立高等学校の中途退学者数は徐々に減少傾向に向かっている。																														
アンケート調査結果	1 いじめ問題対策研修会 （調査対象） 県立高等学校 109校（研修会を実施した全校） (1) 研修会への教職員の参加はどの程度でしたか。 <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">ほぼ全員</td> <td style="text-align: center;">半数以上</td> <td style="text-align: center;">半数以下</td> <td style="text-align: center;">10人未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">81</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0 (%)</td> </tr> </table> (2) 研修会の内容は、学校の生徒指導に活かせる内容でしたか。 <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">そう思う</td> <td style="text-align: center;">ややそう思う</td> <td style="text-align: center;">ややそう思う</td> <td style="text-align: center;">全然思わない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">62</td> <td style="text-align: center;">36</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0 (%)</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">全く思わない0</p> (3) 研修会はいつ頃実施しましたか。 <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">4～6月</td> <td style="text-align: center;">7～9月</td> <td style="text-align: center;">10～12月</td> <td style="text-align: center;">1～3月</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">43</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">2 (%)</td> </tr> </table> 2 スクールカウンセラー期間訪問 （調査対象） スクールカウンセラー期間訪問高等学校の管理職 30人 (1) 生徒指導において、スクールカウンセラーの期間訪問は有効ですか。 <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">そう思う</td> <td style="text-align: center;">ややそう思う</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">87</td> <td style="text-align: center;">13 (%)</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">やや思わない0 全く思わない0</p>			ほぼ全員	半数以上	半数以下	10人未満	81	18	1	0 (%)	そう思う	ややそう思う	ややそう思う	全然思わない	62	36	2	0 (%)	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	30	43	25	2 (%)	そう思う	ややそう思う	87	13 (%)
ほぼ全員	半数以上	半数以下	10人未満																												
81	18	1	0 (%)																												
そう思う	ややそう思う	ややそう思う	全然思わない																												
62	36	2	0 (%)																												
4～6月	7～9月	10～12月	1～3月																												
30	43	25	2 (%)																												
そう思う	ややそう思う																														
87	13 (%)																														

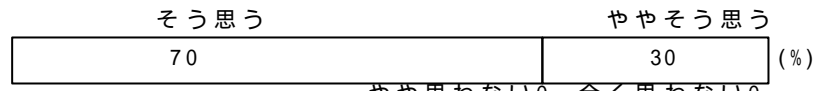
アンケート  
調査結果

(2) 訪問回数(時間)は、もっと多い方がいいと思いますか。



やや思わない0 全く思わない0

(3) スクールカウンセラーを十分活用できていると思いますか。



やや思わない0 全く思わない0

3 意見・感想

- ・いじめ問題対策研修会について、適切な講師を選定するための資料を充実させてほしい。
- ・訪問期間を3～6ヶ月(現行3ヶ月)程度とすると、充実したサポートが期待できる。

4 調査結果の分析

(1) いじめ問題対策研修会

- ・研修会への参加については、81%の学校でほぼ全員の職員が研修会に参加している。
- ・研修会の内容については、98%の学校が生徒指導に活かせる内容と考えている
- ・研修会の実施時期については、73%の学校が、9月までに研修会を実施している。

(2) スクールカウンセラー期間訪問

- ・期間訪問は有効か、訪問回数は多い方がいいかについては、全ての学校で、「そう思う」「ややそう思う」と答えている。
- ・スクールカウンセラーの活用については、70%の学校が十分活用できていると答えている。

関連データ

県立高等学校の中途退学の状況

		H14	H15	H16	H17	H18
全日制	中途退学者数(人)	1,427	1,266	1,096	1,088	1,061
	中途退学率(%)	1.94	1.78	1.60	1.64	1.66
定時制	中途退学者数(人)	202	185	183	178	176
	中途退学率(%)	13.04	12.10	12.50	12.04	12.46
合計	中途退学者数(人)	1,629	1,451	1,279	1,266	1,237
	中途退学率(%)	2.16	1.99	1.82	1.87	1.89
	全国中途退学率(%)	2.20	2.10	2.00	-	-

今後の方向

1 いじめ問題対策研修会

- (1) 研修会への参加については、より多くの職員が研修会に参加するよう各学校に対し働きかけていく。「ほぼ全員」の割合が90%以上となることを目標とする。
- (2) 研修会の内容については、実際の生徒指導に活かせる内容となるように、他校の取り組み事例や、適切な講師の紹介など、各学校の実情に応じた内容となるよう指導していく。
- (3) 研修の実施時期については、早期実施について働きかけていく。4～6月で50%以上の学校が実施することを目標とする。

2 スクールカウンセラー期間訪問

- (1) スクールカウンセラーの期間訪問については、対象学校数を増やし、学校のニーズに対応していく。具体的には、21校増の51校を対象校とする。
- (2) スクールカウンセラーの活用については、先進的な取り組みの紹介や担当教員の研修などを行い、より一層の活用を図っていく。